作成日：　2022年12月20日
改定日：

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	：	シークス リキッド　マグノリア
JANコード	：	4976363136761
会社名	：	晴香堂株式会社
住所	：	奈良県磯城郡三宅町伴堂413-2
担当部署	：	企画部
電話番号	：	0745-43-1181
FAX番号	：	0745-43-1188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体	：	区分3

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	：	分類できない
急性毒性(経皮)	：	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：	分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	：	区分2
呼吸器感作性	：	分類できない
皮膚感作性	：	区分1
生殖細胞変異原性	：	分類できない
発がん性	：	分類できない
生殖毒性	：	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	区分3
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	区分1,区分2
吸引性呼吸器有害性	：	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	：	区分2
水生環境有害性(長期間)	：	区分2
オゾン層への有害性	：	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル　：



注意喚起語　：　危険

危険有害性情報　：
引火性液体及び蒸気
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ又は眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き　：
ご使用の前にSDSをお読みください。
火気厳禁。静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。
取扱い後は十分に手洗いすること。
皮膚や衣服についた場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
目の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
換気の良い場所で使用し、蒸気の吸入を避けること。
吸入し気分が悪い時：空気の新鮮な場所に移して休息させ、医師に連絡。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断／手当てを受けること。
漏出物を回収し、環境への放出を避けること。
換気のある冷暗所(又は指定の場所)に密栓して保管すること。
残余内容物／容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 香料関連品
成分および含有量 :

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法No.
ｴﾀﾉｰﾙ	64-17-5	40～50	2-202

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体の保温に努める。
応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚や衣服に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。
無理に吐かせてはいけない。
応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等
特有の消火方法 : 消火剤を火元へ放射、散布等して消火する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。
火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護 : 消火作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : 作業の際、吸入や皮膚に触れない様、適切な保護具を着用し、換気をよくして処理する。
環境に対する注意事項 : 製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。
除去方法 : 掃き集める等して空容器に回収し、後で廃棄処理する。
二次災害の防止策 : 付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 火気厳禁。電気機器類、静電気等のスパークなどによる着火源を生じないようにする。
設備的注意事項 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行う。
安全取扱い注意事項 : ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。
蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。
取扱い後は十分に手洗いをする。

保管
適切な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した暗所(又は指定の場所)に密栓して保管する。
その他 : 消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度 :

成分名	作業環境許容濃度(日本産業衛生学会)	ACGIH-TLV
ｴﾀﾉｰﾙ	-	1000ppm(STEL)

設備対策 : 取扱いの際は、全体換気を行う。
保護具
呼吸器の保護具 : 保護マスク
手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 保護服(長袖作業服等)

9. 物理的及び化学的性質
外観 : 無色透明液体
臭い : 特有の香気
pH : 5.3-6.3(弱酸性～中性)
沸点、初留点及び沸点範囲 : データなし
引火点 : 28.0℃
燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし
蒸気圧 : データなし
比重 : 0.931(20℃)
溶解性 : 水に可溶

10. 安定性及び反応性
安定性 : 通常の条件下では、安定で、自己重合性はない。
反応性 : 特記すべき反応性なし。
危険有害な分解生成物 : 自己分解により有毒ガスを発生することはない。
避けるべき条件 : 特記すべき条件はなし。
混触危険物質 : 特記すべき条件はなし。

11. 有害性情報 :
製品及び通知等成分の有害性情報

危険有害性	製品	通知等成分
		エタノール
急性毒性(経口)	分類できない	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない	区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2	区分2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	区分1	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	区分1A
生殖毒性	区分1	区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3	区分3(気道刺激性・麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 区分2	区分1(肝臓) 区分2(中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない
GHS 関係各省による分類結果・分類実施年		H25年度

12. 環境影響情報 :
製品及び通知等成分の環境影響情報

危険有害性	製品	通知等成分
		エタノール
水生環境有害性(急性)	区分2	区分外
水生環境有害性(長期間)	区分2	区分外
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない
GHS 関係各省による分類結果・分類実施年		H25年度

13. 廃棄上の注意 : 残余内容物、容器、包装等は、産業廃棄物として適正に処分する。

14. 輸送上の注意
国内法規制
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送 : 航空法等に定められている輸送方法に従う。
国際法規制

国連分類	:	クラス3　引火性液体
国連番号	:	1266　香料製品類　容器等級Ⅲ
輸送上の特別の安全対策及び条件	:	容器転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	:	通知対象物質(ｴﾀﾉｰﾙ)
化学物質管理促進法	:	該当しない
消防法	:	第四類第二石油類水溶性液体　危険等級Ⅲ
船舶安全法	:	引火性液体類
航空法	:	引火性液体
海洋汚染防止法	:	海洋汚染物質

16. その他の情報

引用文献 :

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。